



おびひろスクールラボ

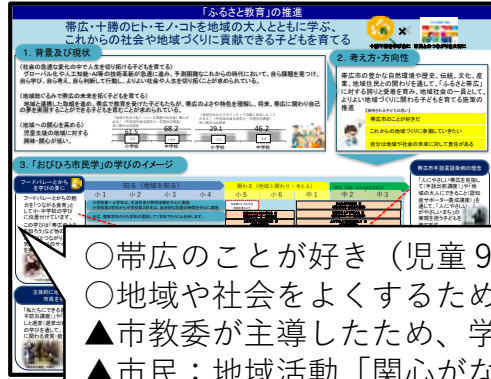
活用の手引き

学校の「やってみたい！」を応援



おびひろスクールコラボ 実施の背景と目的

背景



- おびひろ市民学
地元企業や団体等を講師とした〇〇教育の実施
- 全校がコミュニティ・スクール
家庭・地域と一体となって子どもの成長を支える仕組み

- 帯広のことが好き（児童94%、生徒92%）
- 地域や社会をよくするために何をすべきか考える（児童73%生徒64%）
- ▲市教委が主導したため、学校が外に目を向けない。外部人材が限定的に
- ▲市民：地域活動「関心がない」「何をしたらいいかわからない」計52.5%

地域との協働による地域への誇り・愛着

▲限定的な教育課程への参画



授業づくりや授業をを一緒にするためには、予算が・・・
地元の企業との連携は地域の活性化にもつながるのに・・・
▲学校がやってみたい **ワクワクする地域人材を活かした授業**（法教育、起業家教育、第6次産業、アイヌ民族の文化等、環境教育）

▲予算不足による地域人材の活用と地域づくり



教科指導のプロではあるけど、〇〇教育のプロではなくて…専門的な指導は難しい…地域に〇〇教育の専門家がいないのに…
▲脱・自前主義 **本物による学びで子どもがワクワク**

▲予算不足による専門家との学び

目的

学校が、地域住民や地元企業、さらには地域外の大学、NPOと**コラボレーション**した取組を実施し、**「社会に開かれた教育課程」**を実現することを目的とした事業です。

※「おびひろスクールコラボ」で、学校のやりたい！を応援する **リソースの確保（人・もの（カリキュラム）・財源）**を学校へ。
多様な人材が参画できる授業と学校へ**転換**していく。

目指すイメージ例



<https://www.youtube.com/watch?v=iHK9AI8BWQQ>

実現できること

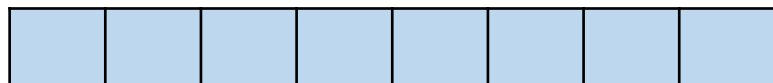
- 未来の人づくり
⇒未来を生きる子どもに求められる資質・能力の育成
- 未来の地域づくり
⇒協働による地域とのつながりや関係人口の増加
- 「社会に開かれた教育課程」の実現
⇒地元住民、企業や専門家との連携・協働による「社会に開かれた教育課程」の実現

活用の3パターン



地域とフル

- 単元の**企画から実施までをトータルでコラボ**するパターン
- 地域住民や地元企業の力を借りながら、学校のやってみたい！を実現することが可能



例えば・・・

地域企業と単元の企画と実施をコラボ



【学校のやってみたい！】
地元企業の専門性を活かした授業を実施してみたい！
単元を共に企画する中で、地域とのつながりも期待できる！

■□実際の授業
地元企業の方が講師として授業を実施！

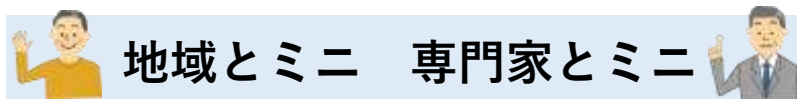
- 他にも考えられるフル
- ・地元の農家と共に「育てる・つくる・発信する」第6次産業に係る取組をコラボ
- ・看護学校との連携による命を考える単元をコラボ

学習発表会の演目を企画からコラボ



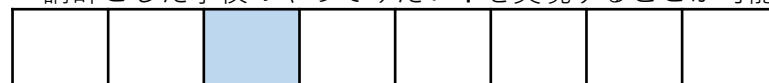
【学校のやってみたい！】
学習発表会の演目を地元住民とコラボして作り上げたい！

■□実際の授業
表現活動をゼロから自分たちで作上げるために「歌詞」「作曲」「ダンス」の3チームに分け、各チームに地元住民の専門家がフル指導を実施！



地域とミニ 専門家とミニ

- 学校が企画した単元の**実施部分の一部についてコラボ**するパターン
- 授業の1コマについて、地域住民や地元企業、専門家を講師とした学校のやってみたい！を実現することが可能



例えば・・・

跳び箱授業を専門家とコラボ



【学校のやってみたい！】
子どもが苦手としている跳び箱の単元で、大学の先生からコツを教えてもらいたい！

■□実際の授業
単元の中ほどで大学の先生を招いた授業を実施！

- 他にも考えられるミニ
- ・運動会前に、地域の専門的なコーチによる指導を受けたい！
- ・〇〇教育の専門家に、オンラインでの講演をしてほしい！ 等

地域住民が課題追究に伴走コラボ



【学校のやってみたい！】
総合的な学習の時間で個別の探究的な学びに合った地域人材を複数講師に招いて探究的な学びを充実させたい！

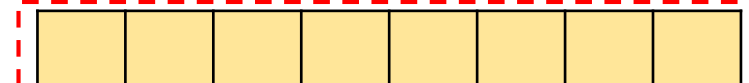
■□実際の授業
単元の途中から、ブースを設けて地域住民による助言や、個別の助言を実施！

- 他にも考えられるミニ
- ・地域の書道家による書道講座、地域の弁護士による法教育 等



専門家とアップグレード

- 専門家が学校改善を全面コラボ**による学校の組織強化を通じて、これまで実現できなかった取組を実現することを目指すパターン



例えば・・・

国語の授業改善を専門家とコラボ



【学校のやってみたい！】
国語の授業改善を図るため前教科調査官を講師にした授業視察及び講師による講演をやってみたい！

■□実際の動き
年2回の授業視察と指導助言さらには講演を実施！

- 他にも考えられるアップデート
- ・生徒指導の充実を図るため、生徒指導提要に係る講義を講師を招いてオンラインで行いたい！
- ・保護者対応のノウハウを専門家から学びたい！ 等

- 本事業は、ふるさと納税に係る「子ども地域応援基金」を財源としていることから、次のことに留意願います。
- ・地域住民との連携等、地域住民との関わりが求められるため、専門家とミニや、専門家とアップグレードにおいては、授業や講演に地域住民を招くなどして、地域住民との関わりをもてるようにしてください。